

令和5年度事業計画

令和5年度は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが見込まれます。こうした中で、会員の減少を抑制し、新規の加入促進、就業機会の拡大が最大の課題であります。

政府は、総合経済対策を迅速かつ着実に実行し、物価高を克服しつつ、新しい資本主義の旗印の下、社会課題の解決に向けた取組を成長のエンジンへと転換し、我が国経済を持続可能な成長経路に乗せていく。そしてコロナ禍からの回復や各種政策の効果、雇用・所得環境の改善が進むと示しています。

少子高齢化社会が進展する本市においては、需要環境を見極め、従来の枠組みにとらわれない新たなサービスの提供とこれまで以上に魅力あるシルバー人材センター活動が求められています。

当センターでは、高年齢者就業機会確保事業の中心である剪定や除草作業などに就業する会員の高齢化と健康面から、受注対応が厳しくなっており、より一層の安全対策強化に加えて、会員の新規加入促進と作業会員の育成向上を図る必要があります。また、独自事業の運営においては令和4年度で終了したことにより、新たな取組みが必要となっています。

このため、「地域や会員に魅力あるセンター」を目指して、新規事業への参入及びシルバー事業の積極的な広報・情報発信を行い、第4次中期事業計画に掲げる三つの目標、「会員拡大・就業拡大・安全就業」の達成に取り組んで参ります。

今年度は、昨年度に引き続き高齢者活用・現役世代サポート事業を拡充するとともに、独自事業の新たな取組みと安全就業の徹底による事故撲滅に力を入れて参ります。

さらに、令和5年10月からインボイス制度が始まります。当センターと会員がこの制度を理解し円滑に制度移行に取り組めます。

1. 基本方針

- 1 高年齢者就業機会確保事業の推進
 - (1) 請負・派遣事業の充実、就業機会の適正確保、新規会員の加入促進
 - (2) 安全適正就業の推進
 - (3) 会員の資質向上及び能力開発
 - (4) 会員の社会活動の促進
- 2 独自事業の新規開拓
- 3 第5次中期事業計画の策定
- 4 羽咋勤労者総合福祉センター運営管理
- 5 組織体制の充実

2. 事業実施計画

1 高年齢者就業機会確保事業の推進

(1) 就業機会の確保と雇用の適正確保、新規会員の入会促進、高年齢者の就業機会を確保し、雇用をサポートするためには、受託事業の拡充及び新たな事業の開拓を図る必要があります。また、会員の健康と生きがいづくりや地域社会に貢献する組織作りを強力に推進していきます。

入会を促進するため、市内事業所や各家庭に向けて積極的な広告や宣伝を行い、シルバー事業での就業情報や就業会員を紹介するとともに、互助会活動を充実し新規入会者の発掘と勧誘に努めていきます。

- ①羽咋市の「広報はくい」やシルバーホームページでのPR、市内公民館でチラシ配布、更には新聞への折込などを行い情報発信をしていきます。
- ②普及啓発月間に合わせたボランティア活動や各種イベント活動シルバーフェスタ開催での情報発信をしていきます。
- ③会員向け機関誌「シルバーだより」(年4回)やショートメッセージを活用し、就業募集情報、就業機会をお知らせするとともに、会員自らが新会員を紹介し入会を促進できる体制としていきます。
- ④指揮命令が必要な分野への就業は、公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会羽咋事業所として、会員に対して労働者派遣による就業機会の提供を行います。また、「臨時的・短期的・軽易な業務に係る就業」を希望する企業の求人については、就職希望の会員へ職業紹介していきます。
- ⑤役職員による民間事業所への訪問による就業開拓と情報提供を進めていきます。
- ⑥会員と非会員が参加する「シルバーはつらつ塾」等の各種講習会を開催し、新規会員の入会を促進していきます。
- ⑦毎週水曜日に入会者説明会を開催し、随時入会を進めていきます。
- ⑧入会促進と退会抑制のため、新たな会費制度を検討していきます。

(2) 安全適正就業の推進

会員が安全に就業できることが最優先であり、自らの健康状態や能力に応じた仕事を選択し、健康維持と安全確保に努め、事故「ゼロ」を目指し、意識の高揚と啓発に努めていきます。

- ①安全適正就業委員会を中心に推進計画を策定し、安全対策を強化推進します。
- ②安全パトロールの実施、結果分析の公表と安全適正就業を図ります。
- ③安全防具(ヘルメットや安全ベルト等)の着用、作業用具の点検整備・補充を図り、作業前点検を徹底し、人身事故や飛び石事故の撲滅に努めます。
- ④熱中症予防情報を適宜発信し、熱中症防止対策に取り組みます。

- ⑤安全就業と健康管理は不可欠であり、特定健診などの受診を推奨し、会員の意識向上に努めます。
- ⑥機関誌「安全だより」の発行、講習会の開催など健康、安全意識の向上を図ります。

(3) 会員の資質向上及び能力開発

会員の多様な就業ニーズや技術・技能後継者の不足、顧客からの厳しいニーズに応え、会員の知識・能力を高め、資質向上や能力開発に努めていきます。

①石川県シルバー人材センター連合会が主催する支援と育成講習

剪定初任者技能講習、刈払機作業に関する一般的な知識、安全対策を習得します。

②羽咋市シルバー人材センターが主催する研修、講習会等

熱中症や就業中事故の応急処置講習など技能・安全知識を習得します。

③安全運転講習

石川県交通安全協会の実施する高齢者ドライビングスクール石川県シルバー人材センター連合会主催の技能講習、当センターの独自講習等に積極的に参加し、会員の安全運転に対する技能向上と意識啓発を進めます。

(4) 会員の社会活動の促進

少子高齢化の進展により、弱体化する地域の支え手として活躍の場が広がっています。地域に貢献するセンターの取組みを積極的にPRし、信頼に応じていきます。

同世代の支え手として、日常生活支援や家事援助のサービス事業に積極的に取組み、会員のボランティア活動を継続して行います。

2 独自事業の新規開拓

会員の働く機会を広げ、会員の自主性、自発性を尊重し、会員グループの創意と工夫により、会員自らの運営を基本に実施します。就業会員の高齢化と健康面から、新規独自事業の開拓を進めていきます。

また、「剪定枝葉処理事業（通称：チップ事業）」及び「eco農園事業」並びに「自然栽培米事業」は従事会員の高齢化等に伴い令和4年度で終了しました。

①独自事業の新規開拓

会員の皆さんや地域の方が求める新たな独自事業を発掘し、時代に合った継続できる新事業を開拓していきます。

3 第5次中期事業計画の策定

令和5年度で第4次中期事業計画（平成31年度～令和5年度）が終了することから、新たな活動方針となる第5次中期事業計画を策定します。

4 羽咋勤労者総合福祉センター運営管理

羽咋勤労者総合福祉センターは、羽咋市の施設であり、羽咋市シルバー人材センターが指定管理を受け、貸館事業や維持管理など全体運営を行っています。

開設以来、約35年が経過し、大規模な改修が必要となっています。羽咋市と協力し、利用しやすい施設になるよう調整していきます。

5 組織体制の充実

これまでのコロナ禍や会員減少により契約額が減少する中で、効率的な財政運営や理事会、専門委員会及び事務局が情報共有してきましたが、コロナ禍からの脱出図り、これまで以上に建設的な意見交換・提案を実践に移す必要があります。

情報共有の強化と他センターとの交流を深め、情報交換を進めることにより、発注者及び会員の期待に応えられる組織体制と資質向上に取り組んでいきます。